

小樽プロモーショングループ
協賛団体・協賛会員 登録申込書

団体名		
ご担当者		
ふりがな 氏 名 (個人名)		
郵便番号	□□□-□□□□	
ご住所	市 区	
電 話	()	
F A X	()	
E-mail	@	
協賛数 一口 1,000円	□ (円)	
事務局 使用欄		

サポート会員
協賛団体・協賛会員 募集

趣旨に賛同し、ともに活動していただける「サポート会員」ならびに、活動に対してのご支援をいただける「協賛団体」「協賛会員」を募ります。

●サポート会員

一緒に活動し、応援・ご協力いただける方。

●協賛団体・協賛会員

一口 **1,000円**の協賛金でご支援いただける方。

協賛金お振込先

ゆうちょ銀行

記号 **19020** 番号 **51672381**

口座名 小樽プロモーショングループ

お申込方法

この申込書にご記入いただき、担当者にお渡し願います。

郵送・FAX・e-mailでも承ります。

●郵 送

〒047-0036 小樽市長橋 2-15-13

小樽プロモーショングループ事務局

中村方

●電 話 : 080-4045-1461

●F A X : **0134-33-2934**

●e-mail : murasakikurabu3.26@gmail.com

小樽プロモーショングループ

入会のご案内

Otaru
Promotion
Group

小樽プロモーショングループ(OPG) 発足趣意書

設立経緯

歌手・あがた森魚は、入船小学校が閉校となることをきっかけに、当時担任だった佐藤敬子先生の面影を探すドキュメンタリー映画を製作することを思い立ち、平成28年夏頃から撮影・収録のため度々小樽を訪れ、小樽の街並みや風景、当時の小樽を知る人々の証言など積極的に撮影・収録に取組みました。

この映画には、温かな人柄と懐かしい風情に満ちた「ありのままの小樽」が表現されており、多くの方々に鑑賞して欲しいと願っています。

この度、これまであがた森魚を応援してきたメンバーを中心に「小樽プロモーショングループ(OPG)」を立ち上げ、小樽の芸術・文化活動への支援を行うこととし、その第一弾として、映画「佐藤敬子先生を探して」の上映活動を応援しようとするものです。

趣旨・目的

小樽において様々な芸術文化活動を行う個人・団体を支援、サポートすることで、芸術文化の振興・発展を促し、もって歴史と伝統の街・小樽の活性化に寄与することを目的とします。

組織

名称を「小樽プロモーショングループ(通称 OPG)」とします。

OPGに本部とサポート会を置き、本部は、会の活動の企画・立案及び運営管理を行い、サポート会は、会が行う活動に賛同し、応援・協力いただく会員で組織します。

第1回 活動概要

活動名 あがた森魚監督ドキュメンタリー映画
「佐藤敬子先生を探して」
上映、活動サポート。

概要

2017年夏、秋、冬、母校入船小学校を舞台としたあがた森魚監督の映画制作は、彼の半世紀近い音楽人生のメモリアルであり、近代の激動の時代が織りなす小樽の盛衰の必然と、彼を育んだ故郷小樽への個人的事象を絡めながら、独自のフィナーレを通して今の世に投影させています。

恋愛を論じ、郷愁を誘い、近代の小樽の恩恵を浮き彫りにして、彼を育んだ源泉を探す旅路のドキュメンタリー映画「佐藤敬子先生を探して」を彼は編み奏で口ずさむ。

それは地球上、歴史上、異なる時と場所であれ、確かに在り続ける憧憬と薫陶の忘れな草とめぐり逢いのノスタルジー。

あがた森魚の独自の表現は、何気ない飾らぬ路傍や軒、目をそらす翳りの中にこそ、喜びと発見の驚きを転がして、今昔が混在する小樽がそのシンボリックな場所である事を映画で証明しようとしています。

彼の映画制作の果てない希求に惹かれた私達はそこを発端にして、今日の、そしてこれからの小樽の芸術・文化の発信、独創がもたらす情操、小樽の地形や歴史からの恩恵、育み、温もりの良さを推し進めたいと願い、この会を発足させました。

活動の第一弾は、その縁となったあがた森魚監督作品のドキュメンタリー映画「佐藤敬子先生を探して」の公開のプロモーションを通して、小樽の人と地域の営みの深さを再認識し、願わくば全国、世界への発信をも視野に入れ、ここに小樽プロモーショングループを発起する事を表明します。

2019年2月1日

小樽プロモーショングループ

本部長 上林 猛
事務局長 熊谷 敬子

小樽プロモーショングループ サポート会員 登録申込書

ふりがな	
氏名	
郵便番号	□□□-□□□□
住所	市 区
電話	()
F A X	()
E-mail	@
事務局 使用欄	